

# 資料館だより

2022年 秋号

## contents

開館10周年記念式典・特別講演会	1
館長あいさつ	2
資料館の新しい語り部さん	2
夏休みイベント	3
資料館ニュース、インフォメーション	4

## 開館10周年記念式典・特別講演会 令和4年4月29日（金・祝）

4月29日（金・祝）、県立イタイイタイ病資料館の「開館10周年記念式典・特別講演会」を行いました。

午前の式典には来賓、被害者団体、関係者、約70人の方々に出席いただき、県知事式辞、館長あいさつに続いて、鏡森定信名誉館長が10年間の振り返り、記録写真や資料を交えてこれまでの活動を紹介しました。

また、イタイイタイ病の教訓継承に寄与された語り部8人と資料館の整備段階から事業の運営と普及に貢献された3人、合わせて11人の方々に知事から感謝状が贈られ、受賞者を代表して高木勲寛氏が挨拶をされました。

午後の講演会では、最初にイタイイタイ病対策協議会会長の小松雅子氏が語り部として講話をされ、初代会長で父の故義久さんが取り組まれた患者救済と裁判闘争に触れ、「取り戻した神通川の清流を守り、真実を語り継ぎたい」と訴えました。

後半は、宇宙飛行士の毛利衛氏が「宇宙から見た私達の環境と未来」と題して特別講演をされ、「地球の生命を維持していくために、人間は何を我慢できるかを考える必要がある」と指摘されました。約170人の聴講者からは熱心な質問が多くありました。



富山県知事 式辞



語り部講話 小松雅子氏



感謝状受賞者記念写真



特別講演 宇宙飛行士 日本科学未来館名誉館長 毛利衛氏

## 「春の特別企画展」を同時開催



写真展「カラーで甦るイタイイタイ病の記憶」

## 特別講演会 参加者の声

- ・小松さんのお父さんが裁判のために頑張っていたことを知り、とてもすごい人だと思います。（小学生）
- ・訴訟に反対する住民もいて苦勞されたことを知りました。勇気をもって裁判を闘ったことが今につながっていると思います。（40歳代）
- ・決して忘れてはいけないイタイイタイ病の苦悩の歴史をご自身の経験をもとに語り継がれるお姿に感銘を受けました。これからも活動を応援しています。（50歳代）
- ・川の恵み、大地の恵みどれひとつとっても当たり前などないと改めて教わりました。（50歳代）
- ・神通川の水汚染により苦しまれた多くの方々に報いるためにも我々は絶対に教訓を忘れず、公害を発生させないように努めてまいります。（60歳代）
- ・宇宙と環境をからめた科学的視点の話で、地球の大切さを改めて実感させられる内容でした。人口問題や海洋ごみの問題が宇宙とも結びついていると認識させられます。（40歳代）
- ・物欲ばかり追い求めていたが、これからはどう我慢して過ごしていくか考えることが、持続的な生活につながることを理解できました。（70歳以上）



# 開館10周年にあたり

富山県立イタイイタイ病資料館 館長 野田 八 嗣



当資料館は、本年4月29日に開館10周年を迎えました。当日午前中の式典には、新田八朗富山県知事出席の下、多くの国会議員の先生方、県議会議長、富山市長、イタイイタイ病対策協議会や神通川流域カドミウム被害団体連絡協議会、語り部の皆様に加えて、原因企業、行政機関など合わせて70名の方々に参加していただきました。式典では、知事より高木勲寛さんはじめ貢献が顕著であった11名の方々に感謝状が手渡されました。

また、午後からの特別講演会は、一般の方を含めて170名の方々の参加がありました。イタイイタイ病対策協議会会長の小松雅子さん、宇宙飛行士・日本科学未来館名誉館長の毛利 衛さんにご講演いただき、聴講者から大変に好評でありました。

資料館は10年の年月を経て、老朽してきた部分も見受けられます。

施設面では、映像設備や機材を更新する際に近年のIT技術を取り入れて、情報を発信してまいりたいと考えています。また、普及事業の面では、伝承・啓蒙活動の根幹である語り部さんの高齢化を懸念しておりましたが、本年4月以降、新しく3人の方々に語り部登録をお引き受けいただき、総員12人となりました。誠にありがたく思っており、公害の実態を生々の声で伝える活動がしっかりと引き継がれていくことをご期待申しあげます。

本年度は、コロナ禍ではありますが4月から7月で既に3,642名の来館者があり、8月も夏休みで多くの方々にご来館いただいているところです。10月以降は、「四大公害病の語り部講話を聴く集い」、「イタイイタイ病を考える県民フォーラム」などを開催する予定にしております。本年は、イタイイタイ病裁判原告団全面勝訴から50年の節目の年にあたることから、さらに多くの皆さまのご来館をお待ちしております。

私自身4月から館長を拝命したところでありますが、資料館スタッフとともに、産業発展と環境を考える上からもイタイイタイ病の教訓と歴史を風化させないよう努めてまいります。

## イタイイタイ病資料館の新しい語り部さんです

新しく資料館の語り部に登録された3人の方を紹介します。

### 島崎 定則 さん

島崎さんは富山市婦中町熊野地区で生まれ育ち、現在は地区の自治振興会長に加えて富山県防災会にも会員登録され、安心・安全な住みよい地域づくりのために活躍しておられます。



島崎さんの同居家族であるお祖母ちゃんのタカさんは、島崎家に嫁いでからずっと祖父の佐一郎さんと二人で元気に農作業をされていましたが、60歳頃からイタイイタイ病の症状が現れ、当時、中学生だった島崎さんは、診療を受けるために萩野病院までタカさんを自転車の後ろに乗せていったそうです。

タカさんは入退院を繰り返すようになり、83歳まで辛い闘病生活が続きました。

一方、祖父の佐一郎さんは効率よく農作業ができるよう、集落の仲間と田んぼの圃場整備を進め、ようやく工事が完了した時期にイタイイタイ病裁判が始まり、勝訴の結果として汚染農地では食用米が耕作できなくなり大変にがっかりしておられたそうです。

講話では、お祖父ちゃん、お祖母ちゃんのご苦労や思い出をお話しされます。

### 高吉キヨ子さん



高吉さんは、昭和36年に結婚されご主人の実家（富山市婦中町）へ嫁がれましたが、ご主人の母親（姑さん）初枝さんはその頃にはすでにイタイイタイ病でほとんど寝たきりでした。

そのために、家事に加えて農作業や幼い義弟達のお世話もすべて高吉さん一人にかかっていた。特に、田植えや稲刈り時期の農作業は大変に辛かったとのこと。

病気で思うように身体が動かない姑の初枝さんは、自身のような辛い思いをさせまいと、嫁の高吉さんには優しく接して下さったそうです。

また、亡くなられたご主人は被害者団体の活動に積極的に加わり、イタイイタイ病裁判を応援していたそうで、今は、息子さんが原因企業への立入調査などの活動を担っておられます。

講話では、優しく初枝さんから聞いた、当時の家庭生活や入院生活の様子をお話しされます。

### 柞山 明さん

柞山さんは富山市婦中町宮川地区で農家の長男として生まれ育ちました。



同じ語り部の島崎定則さんとは従兄弟同士であり、イタイイタイ病に苦しまれた島崎タカさんは、柞山さんの母方の祖母にあたります。

幼少のころから島崎家へ遊びに行くと可愛がってもらった優しいタカお祖母ちゃんは、発病されてからは笑顔が消え、やがて病院のベッドで寝たきりになっていったそうです。

また、お父様の幸作さんは専業農家として米作りに精魂を込めておられたので、田んぼがカドミウムで汚染され、米が作れなくなったことに大変に落胆されました。

それでも地域の農家の皆さんと、原因企業との交渉で約束された汚染農地の復元に動き出し、地区の鉱害対策協議会会長として長い間復元事業に深く関わられました。

柞山さんはお父様の姿をみながら人生のテーマを「農」と決め農林水産省に就職され、退官後はJA役員として地域農業の発展に寄与され、また、仲間と農事組合法人を立ち上げ、復元された田んぼで営農活動にも取り組んでおられます。

講話では、被害を受けた地域の農業復興と、農業一筋に努力されたお父様の思い出を交えてお話しされます。





# 資料館の夏休みイベントを行いました

富山の将来を担う子どもたちがイタイタイ病や環境の大切さについて学びました



## 夏休み自由研究講座 ～イタイタイ病の学習と川の水質調査～

小学5・6年生を対象にした「夏休み自由研究講座」には、6組14名の親子が参加しました。

ガイダンス映像を視聴した後、資料館スタッフの解説を聴きながら展示室を回りました。神通川流域の農村に病気が発生した時期や要因を教わり、病気に苦しむ患者と家族のようすを再現したジオラマを見学しました。

さらに、地元の萩野医師たちによる病気の原因究明の努力、被害住民たちが団結して裁判勝訴にいたるまでの過程、その後の汚染農地の復元事業や今も続く発生源対策の取り組みについて学習し、イタイタイ病の歴史や環境と健康の大切さに理解を深めました。

後半の「川の水質を調べる実験」では、薬学博士の朴木英治氏にご指導いただき、富山市内を流れる「たち川」の中流から下流まで9箇所まで採水した川水の汚れをパックテストで測り、地点ごとの数値を比較してみました。

初めて扱う簡易測定器に手こずりながらも、参加者は真剣に実験に取り組んでいました。

閉講式では野田館長から参加児童全員に修了証が授与され、自由研究にも役立つ有意義な夏休みの思い出になりました。



展示室を見学



講師から実験の手順を教わる



全員に修了証の授与

**開催日時：**7月30日（土）13時30分～16時30分

**内容：**①イタイタイ病についての学習  
②川の水質を調べる実験（講師：薬学博士 朴木英治氏）

### 参加者の声

- ・イタイタイ病のことがよく理解できたとし、川の水は意外に汚れが少ないことが分かりました。  
(小学5年生)
- ・ガイダンス映像から解説付きの展示見学、川の水質の実験と分かりやすい流れで楽しく受講しました。  
(40歳代保護者)
- ・イタイタイ病について理解が深まり、この講座が多くの方に広がればよいと思いました。川の水質調査では富山県の水がきれいだと安心しました。  
(40歳代保護者)

## イタイタイ病を学ぶ 日帰りバスツアー



神岡鉱業のシックナー前で記念撮影



清流会館を見学

コロナ禍で2年間中止が続き、3年ぶりに開催した「イタイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー」には、県内の小学5・6年生児童とその保護者8組17名が参加して、イタイタイ病に関係のある場所を巡りながら公害病を克服してきた歴史を学習しました。

資料館に集合した参加者家族は展示解説を聴いてから神岡鉱業(株)に向けて出発しました。

神岡鉱業の工場では排水管理センターやシックナー（凝集沈殿装置）、たい積場を見学し、「環境安全最優先」の方針の下に、工場からの排水管理が徹底されているのを見てきました。

午後は富山市内に戻り、カドミウム汚染から復元された婦中町新屋の復元田を見学し、安全で良質な米作りのための努力と工夫を学びました。

最後に被害者団体の拠点施設「清流会館」では、イタイタイ病対策協議会の小松雅子会長の講演を聴き、病気の実態と患者救済の歩みを教わりました。

猛暑の中でしたが全員が元気に資料館へ戻り、解散式でバスツアーを終えました。

**開催日時：**8月5日（金）8時40分～16時40分

**見学場所：**① 資料館 →  
② 神岡鉱業（排水管理センター、シックナー、和佐保たい積場）  
→ ③ 復元田 → ④ 清流会館 → ⑤ 資料館

### 参加者の声

- ・実際の場所を見学できたので話だけで聴くよりよく分かりました。(小学5年生)
- ・神岡鉱業では水質保全の努力やたい積場の様子がよく分かりました。  
(70歳代保護者)
- ・自分が生まれた頃から田の復元が始まり、食用にならない米を作らなければならない農家の苦しみ、これからも続く病気の方の苦痛を再認識させられました。  
(40歳代保護者)

## 資料館ニュース

### 語り部・解説ボランティア研修会

7月5日(火)、資料館の語り部と解説ボランティアを対象にした研修会を行い15名の方が参加しました。

富山市役所の東福光晴 企画調整課主幹と土田香織 観光政策課副主幹の2人を講師を招き、富山市が取り組むSDGsと教育旅行について説明していただきました。

また、4月に新しく語り部に登録された 島崎定則さんと柘山明さん2人にそれぞれの講話をしていただき、全員で聴講しました。



語り部と解説ボランティアの皆さん



土田副主幹



東福主幹

### イタイイタイ病資料館活用研修会

7月29日(金)、イタイイタイ病を教材にした学習の可能性を探り資料館を有効に活用するための研修会を開いたところ、県内12小学校から16名の教員が参加されました。

まず、資料館が提供する学習メニューや副読本などの学習資料を紹介し、展示案内や語り部講話のDVD視聴などで資料館利用の体験をしました。

次に、2つのグループに分かれた教員らを富山国際大学の三原茂教授と小矢部市立蟹谷小学校の宮崎靖校長が指導助言し、効果的な学習の進め方について意見交換をしました。「事前学習で子どもに目的意識を持たせる」「環境問題やSDGsに関心を高めるきっかけとする」などの発言がありました。

最後に、元富山国際大学教授の水上義行先生は「教える先生方がイタイイタイ病に対して知見を深めないといけない」と総括され、イタイイタイ病を題材とする教育の意義を強調しておられました。



グループワークで意見交換

## 資料館インフォメーション

### 四大公害病の語り部講話を聴く集い ～語り部による伝承会～

四大公害病(水俣病、新潟水俣病、四日市ぜんそく、イタイイタイ病)の資料館からそれぞれの語り部を招いて、語り部4人の講話をお聴きします。四大公害病の語り部講話を一度に聴講できる貴重な機会です。会場参加のほかオンラインでも聴講できます。

日時: 10月29日(土) 13:30~16:30  
場所: イタイイタイ病資料館 2F 交流学習ルーム  
人数: 会場参加 40名程度、  
オンライン聴講 40名程度  
<参加無料>

## カレンダー

### これまでの出来事(令和4年度上半期)

#### 令和4年

- 4月23日(土)~5月8日(日) 春の特別企画展 写真展『カラーで甦るイタイイタイ病の記憶』
- 4月29日(金・祝)開館10周年記念式典・特別講演会
- 7月5日(火) 語り部・解説ボランティア研修会
- 7月29日(金) イタイイタイ病資料館活用研修会
- 7月30日(土) 夏休み自由研究講座  
～イタイイタイ病の学習と川の水質調査～
- 8月5日(金) イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー

### これからの行事予定(令和4年度下半期)

- 10月29日(土) 四大公害病の語り部講話を聴く集い  
～語り部による伝承会～

#### 令和5年

- 2月 中旬 イタイイタイ病を考える県民フォーラム  
(講演、学習発表など)



### イタイイタイ病資料館で語り部講話を聴講しませんか。

資料館を団体(原則10名以上)で見学される場合は、事前に申し込みいただくと、イタイイタイ病に関して貴重な体験をされた語り部さんの講話を聴くことができます。

詳しくは資料館ホームページをご覧ください。

### メールマガジン

【登録者募集中】

資料館の最新情報などをお伝えするメールマガジンを配信しています。配信を希望される方は、次のメールアドレスあてにメールを送信してください。【mlhope@itaitai-dis.jp】

発行/富山県立イタイイタイ病資料館

(令和4年9月発行)

〒939-8224 富山県富山市友杉151番地(とやま健康パーク内)

電話▶076-428-0830 FAX▶076-428-0833

ホームページ [イタイイタイ病資料館](#) [検索](#)

富山県